



新年度のご挨拶



満開の桜（3月22日 武蔵境病院 2Fより撮影）

元号が令和に変わり、初めての新年度を迎えます。通常、4月といえば、明るい話題に事欠かない時期であります。年始1月号の「あんず便り」で新年のご挨拶をさせていただいたところから世界中を脅かしている「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）」は、現時点では終息の見通しも立たず、社会全体が混乱をしている状況です。経済分野における活発な国際交流が拡大した現代社会において、症状が小さくても感染を広めるこの病気の特性が、人類がいままで経験したことのないし

ベルでの感染拡大や社会の混乱を招いたのではないかと思います。病気による直接的な被害だけでなく、経済活動の停滞による被害も発生しており、まさに未曾有の危機といえるのではないのでしょうか。

一方で、ちょうど1世紀前に「スペイン風邪」が大流行したと新聞で目にしました。その後も「香港風邪」、「SARS」や「MERS」といった感染症が発生していますが、そのたびに、医学の進歩によりこれらの感染症を克服してきた歴史があります。

新型コロナウイルスに対しては、治療薬やワクチンの開発が行われているとのことで、早く見通しがつくようになってもらいたいものです。当法人としても、正確な情報を収集し地域の皆様へ情報発信に努めていきます。また、治療や研究の最前線におられる医師や研究者をはじめとする関係各位に敬意を表したいと思います。

入院患者様、入所ご利用者様におかれましては、感染症予防対策として面会を制限していることに大変申し訳なく思います。ご理解ご協力いただきありがとうございます。

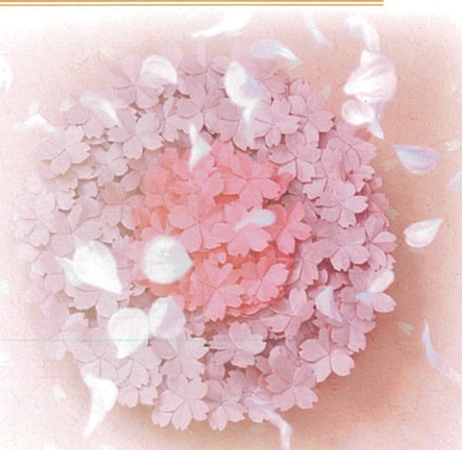
私たちの法人にできることは限られていると思いますが、地域の皆様と手を取り合って、新型コロナウイルス克服に向けて微力ながら邁進してまいります。新型コロナウイルス感染症対策の基本は、厚生労働省やメディアで言われている通り、「手洗い・うがい」「咳エチケット」「人混みを避ける」ことが大切です。また、皆様におかれましては、正確な情報取得に努め、体調が悪いときには仕事を休み、かかりつけ医に電話で相談するなど、基本的な対策をしっかりと行うことが大切だと思います。

さいごに、一日でも早く、皆様の平穏無事な日常生活が戻りますように祈念いたします。

一般財団法人天誠会 理事長 天野 英介

本号の目次

- | | | |
|----|---------------|---------------------|
| 1面 | 巻頭言 | 一般財団法人天誠会 理事長 天野 英介 |
| 2面 | 新入職員オリエンテーション | |
| 3面 | 第27回定時理事会の報告 | |
| 4面 | 事業所短信 | ・新型コロナウイルスについて |



新入職員オリエンテーションを実施しました

天誠会では、去る4月1日に武蔵境病院地下1階のホールにおいて新入職員オリエンテーションを行いました。天誠会が運営する全ての事業所の新入職員の内、勤務シフトを調整して参加できた約30名が集まりました。地域医療や在宅医療への関心の高まりを受け最近では、20歳代の若いスタッフの入職も増加傾向にあり、みんなフレッシュな気持ちでオリエンテーションを受講しました。



第27回定時理事会が開催されました

一般財団法人天誠会は、定款に則り去る令和2年3月19日（木）に第27回の定時理事会を開催しました。本理事会の主な目的は、令和2年度の事業計画及び予算計画の報告と審議でした。審議事項については、満場一致で承認されたことをご報告します。

令和2年度 事業計画の概要

事業計画（全体方針）

”住み慣れた地域で暮らし続ける”をキーワードに、地域包括ケアシステムの構築のため、引き続き貢献していきます。

事業計画（個別事業）

◆ 地域貢献事業（公益目的事業）

- ・新年度も公開講座を開催します。年間10回以上を目標に、地域のニーズに沿ったテーマを選定し、幅広い年齢層の皆さまに参加いただけるように工夫します。
- ・病児病後児保育室プチあんずでは、保育士の専門資格の取得を支援するなどし病児保育の質の向上に努めます。

◆ 武蔵境病院

- ・訪問診療を積極的に行い、通院が難しい患者へのサービスを向上します。
- ・入退院支援業務の精度を向上し、退院後の患者の不安の極小化を目指します。

◆ あんずクリニック

- ・ドクターサブプライア体制を活用し、生活習慣病の予防や指導を行います。
- ・スポーツ整形外科やリハビリといった当院の特徴を更に強化していきます。

◆ あんず苑 / あんず苑アネックス / 小金井あんず苑

- ・法人内外を問わず、地域のケアマネジャーとの連携を強め、利用者のニーズにきめ細かく対応していきます。
- ・デイケアにおいては、短時間利用の受入れや入浴枠の拡大など利用しやすい体制づくりを進めていきます。

◆ あんず苑訪問看護ステーション / サテライト小金井

- ・医療機関や介護施設との連携を強めることで地域のニーズに応えていきます。
- ・スタッフの退職等により一時的に手薄になっている訪問リハビリについて、人材の確保等を通じてサービスを元の水準まで戻していきます。

◆ あんずホームヘルプサービス小金井

- ・介護保険による訪問介護に加えて、利用者のきめ細かいニーズに対応するため自費サービスによる訪問介護の内容を拡充していきます。

◆ あんずケアプランセンター武蔵野 / 小金井

- ・虐待等を含む困難なケース、医療ニーズの高いケースやターミナルケースなどにも積極的に関わっていきます。
- ・特定事業所として研修会などの企画運営に関わり、サービスの質を向上します。

◆ 小金井みなみ地域包括支援センター

- ・小金井市役所や地域との連携を更に強化していきます。
- ・生活支援コーディネーター、認知症推進員を育成し自立支援や重度化予防に積極的に取り組んでいきます。

◆ 認知症対応型グループホーム杏の家

- ・武蔵境病院やあんず苑訪問看護ステーションとの連携を強め、入居されている皆さまが安心して暮らせるように努力していきます。

